

11. 教育活動

宇宙地球環境研究所の大学院教育は、名古屋大学の理学研究科、工学研究科、環境学研究科の3研究科の協力講座として行なわれています。従って、実際の大学院生の募集と入学試験の実施は、宇宙地球環境研究所ではなく理学研究科、工学研究科、環境学研究科が行っています。

本研究所においては、異なる研究内容・手法を展開する研究者が集まり、それぞれの分野の基盤的な研究を深めるとともに、分野横断的な融合研究を通して新たな科学分野の創出を目指しています。こうした環境の中で、広い視野と国際的なセンスを持ち、その知識を社会に還元できる人材の育成を目指して大学院教育を行っています。大学院の学生は、それぞれの得意分野を活かし、外国人を含む多くの研究者と議論を行いながら、意欲的に研究を進め、その成果を修士論文や博士論文としてまとめ、国内外の研究会、学会、学術雑誌などで発表しています。

上記の教育研究活動において学生が取り組む研究に関しては、その課題のみならず、手法も多岐にわたり、地上観測、フィールドワーク、室内実験、樹木の年輪や鉱物に含まれる放射性同位体をもとにした年代測定、人工衛星や航空機・気球などの飛行体に搭載する観測機器の開発、人工衛星によって得られたデータの解析、スーパーコンピュータを用いた数値シミュレーション/数値モデリング、理論研究、及びこれらを組み合わせた総合的な解析研究を行っています。大学院ではこうした最先端の研究に触れながら教育・研究が展開されています。また、本研究所が関わる研究分野では外国の地上・衛星観測装置で取られたデータの活用や外国人研究者との共同研究が不可欠であり、国際的な環境のもとで日々の研究が活発に行われています。

宇宙地球環境研究所の各研究部と理学研究科、工学研究科、環境学研究科における協力講座との関連

		理学研究科					工学研究科		環境学研究科					
		素粒子宇宙物理学専攻					電気工学専攻		地球環境科学専攻					
		宇宙地球物理系					電気工学分野 宇宙電磁環境工学講座		地球惑星科学系 地球史学講座		大気水圏科学系 地球水循環科学講座			
		太陽圏 環境変動 (AM)	宇宙空間 物理学観測 (SS _C)	太陽宇宙 環境物理学 (SS _T)	宇宙線 物理学 (CR)	太陽圏 プラズマ 物理学 (SW)	宇宙電磁 観測	宇宙情報 処理	微小領域 年代測定	タンデロン 年代測定	気象学	雲降水科学	水文気候学	海洋学
宇宙地球環境研究所	総合解析研究部			●			●							
	宇宙線研究部				●									
	太陽圏研究部					●								
	電磁気圏研究部		●				●							
	気象大気研究部	●					●			●	●			
	陸域海洋圏生態研究部											●	●	
	年代測定研究部				●				●	●				
	国際連携研究センター	●	●		●		●		●			●		
	統合データサイエンスセンター			●	●		●	●	●	●	●		●	
飛翔体観測推進センター	●	●		●					●	●		●		

宇宙地球環境研究所で指導を受けている学生数

(2017年4月1日 - 2018年3月31日)

	博士前期課程		博士後期課程			学部生	研究生	計
	1年	2年	1年	2年	3年			
理学研究科	11	18	4	7	8	-	2	50
工学研究科	7	8	1	0	1	-	-	17
環境学研究科	6	6	5	0	9	-	5	31
理学部	-	-	-	-	-	8	-	8
工学部	-	-	-	-	-	8	-	8
計	24	32	10	7	18	16	7	114

* 2017年度在籍延べ人数

研究科担当教員

(2017年4月1日 - 2018年3月31日)

■ 理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻宇宙地球物理系

研究分野	教授	准教授	講師	助教
太陽地球系環境学	松見 豊		中山 智喜 ^{*1}	
	水野 亮	長瀨 智生		
太陽地球相関理学	平原 聖文	野澤 悟徳	大山 伸一郎	
		大塚 雄一		
	草野 完也	増田 智		家田 章正
太陽地球系物理学	伊藤 好孝	増田 公明	谷 隆志 ^{*2}	奥村 暁 ^{*3}
	田島 宏康	阿部 文雄		
		松原 豊		
	徳丸 宗利	岩井 一正		藤木 謙一

*1 2018年2月に転出

*2 2017年10月に転出

*3 2018年3月より講師

■ 工学研究科 電子工学専攻

研究分野	教授	准教授	講師	助教
宇宙電磁環境工学	塩川 和夫	西谷 望		中島 拓
	町田 忍	三好 由純	梅田 隆行	今田 晋亮 ^{*4}

*4 2018年2月より講師

■ 環境学研究科 地球環境科学専攻

研究分野	教授	准教授	講師	助教
大気水圏科学系 地球水循環科学講座	坪木 和久	篠田 太郎		
	高橋 暢宏	増永 浩彦		
	檜山 哲哉	栗田 直幸 ^{*5}	藤波 初木	
	石坂 丞二	相木 秀則		三野 義尚
地球惑星科学系 地球史学講座	榎並 正樹	加藤 丈典		
	北川 浩之	南 雅代		小田 寛貴

*5 2017年10月より准教授

学部教育への協力

本研究所教員は、次のように、名古屋大学の4年一貫教育に協力し、全学共通科目を担当する他、理工系学部からの要請により、講義・演習・実験・ゼミナールを担当している。また、理学部4年生、工学部4年生の卒業研究受け入れや研究生の教育指導も行っている。

■ 担当科目（2017年度）

学部	科目・学科	区分・コース	科目
全学教育科目	基礎科目	全学基礎科目	基礎セミナーA
		理系基礎科目	電磁気学Ⅰ、物理学実験、地球科学入門
	教養科目	全学教養科目	ビッグバンから現代社会まで
		理系教養科目	宇宙科学、大気水圏環境の科学
理学部	物理学科		宇宙物理学Ⅲ、物理実験学、物理学実験Ⅰ・Ⅱ 物理学概論Ⅰ・Ⅱ、物理学特別実験、先端物理学特論
	地球惑星科学科		大気水圏科学、岩石学、太陽地球系科学、 地圏環境化学、地質学実験、地球化学分析法Ⅲ及び実験
工学部	電気電子情報工学科	電気電子工学	数学Ⅰ及び演習A・B、確率論・数値解析及び演習、 電気回路論及び演習、電磁波工学

学外での非常勤講師等

- ・ 金城学院大学
- ・ 九州大学応用力学研究所
- ・ 大同大学
- ・ 新潟大学
- ・ 南山大学
- ・ 愛知大学
- ・ 椙山女学園大学
- ・ 放送大学
- ・ 神戸大学
- ・ 愛知県立芸術大学
- ・ 獨協大学

大学院生の学会等発表状況

本研究所では大学院生の国際・国内学会での研究成果発表を支援している。2017年度は、延べ58件の国際学会・研究集会発表、99件の国内学会・研究集会発表があり、うち5件が発表賞を受賞（詳細は84ページからの研究成果資料参照）。

大学院生のフィールドワーク参加状況

■ 国内フィールドワーク

場 所	施設 観測地など	延べ参加学生数
北海道陸別町	陸別レーダーサイト	2
茨城県鹿嶋市	情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター	2
茨城県つくば市	国立環境研究所	1
東京都小金井市	情報通信研究機構	4
東京都三鷹市	国立天文台	1
山梨県南都留郡富士河口湖町	名古屋大学宇宙地球環境研究所富士観測所	1
長野県木曾郡上松町	名古屋大学宇宙地球環境研究所木曾観測施設	2
岐阜県飛騨市神岡町	東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子実験施設	35
岐阜県高山市丹生川町	東京大学宇宙線研究所乗鞍観測所	3
愛知県豊川市	名古屋大学宇宙地球環境研究所豊川分室	6
愛知県西春日井郡	県営名古屋空港	2
伊勢湾	愛知水産試験場	8
伊勢湾	三重大学	10
滋賀県甲賀市信楽町	京都大学生存圏研究所信楽 MU 観測所	3
兵庫県淡路市	淡路市役所	1
有明海	佐賀大学	6
鹿児島県南大東島	星野洞・今村洞・山下洞・地底湖	1
沖縄県国頭郡恩納村	情報通信研究機構沖縄電磁波技術センター	7
沖縄県石垣市	石垣市立崎枝小中学校	1
東シナ海	長崎大学	4
北太平洋海上	東京大学大気海洋研究所	1
国内参加学生合計人数（延べ人数）		101

■ 海外フィールドワーク

場 所	施設 観測地など	延べ参加学生数
ノルウェー トロムソ	EISCAT レーダー観測所	2
ノルウェー ロングイヤービエン	Kjell Henriksen Observatory (KHO)	1
フィンランド ソダンキラ	ソダンキラ地球物理観測所	1
韓国 太田	韓国地質資源研究院(KIGAM)	1
タイ タイ湾	カセサート大学	3
タイ チェンマイ	チェンマイ大学シリントン観測所	1
ニュージーランド レイクテカポ	マウントジョン天文台	2
アメリカ合衆国 ニューヨーク州	ブルックヘブン国立研究所	4
カナダ ネーン	ネーン観測点	2
海外参加学生合計人数（延べ人数）		17

12. 国際交流

学術交流協定

機関名	国（地域）名	締結日
インドネシア国立航空宇宙研究所	インドネシア	1988年 5月 31日
韓国宇宙天気センター	韓国	2012年 12月 24日
韓国海洋科学技術院海洋衛星センター	韓国	2014年 4月 17日
プキョン大学校環境・海洋大学	韓国	2006年 10月 2日
中国科学院高能物理研究所	中国	2001年 2月 20日
中国極地研究所	中国	2005年 11月 11日
国立台湾大学理学院大気科学系	台湾	2009年 10月 30日
国立台湾大学気象気候災害研究センター	台湾	2014年 9月 3日
バングラデシュ工科大学物理学部	バングラデシュ	2008年 3月 4日
ニュージーランド国立水圏大気圏研究所	ニュージーランド	1989年 7月 26日
オークランド大学地球物理研究センター	ニュージーランド	1992年 12月 7日
カンタベリー大学理学部	ニュージーランド	1998年 7月 30日
アラスカ大学地球物理研究所	米国	1990年 7月 16日
米国海洋大気局宇宙空間環境研究所	米国	1992年 12月 15日
米国海洋大気局地球物理データセンター	米国	1993年 1月 5日
マサチューセッツ工科大学ヘイスタック研究所	米国	1994年 10月 24日
カリフォルニア大学サン・ディエゴ校 天体物理及び宇宙科学研究センター	米国	1997年 12月 22日
バージニア工科大学宇宙空間科学工学研究センター	米国	2013年 1月 23日
ラパス・サンアンドレス大学理学部附属チャカルタヤ宇宙線研究所	ボリビア	1992年 2月 20日
ブラジル国立宇宙科学研究所	ブラジル	1997年 3月 5日
スウェーデン宇宙物理研究所	スウェーデン	2005年 9月 1日 (1993年3月25日から継続)
トロムソ大学理学部	ノルウェー	2003年 4月 2日 (1993年10月8日から継続)
フィンランド気象研究所地球物理部門	フィンランド	1994年 10月 21日
エレバン物理研究所	アルメニア	1996年 10月 18日
ロシア科学アカデミー極東支部・宇宙物理学及び電波伝搬研究所	ロシア	2007年 4月 14日
ロシア科学アカデミーシベリア支部・太陽地球系物理学研究所	ロシア	2008年 10月 28日
ロシア科学アカデミーシベリア支部・宇宙物理学及び超高層大気物理学研究所	ロシア	2012年 11月 28日
ムルマンスク極地地球物理学研究所	ロシア	2017年 3月 13日

注) 締結日は宇宙地球環境研究所を構成する旧組織における締結日になります。

国際協力事業・国際共同研究

国際協力事業・国際共同研究	代表者	相手国（地域）	相手側機関
VarSITI (Variability of the Sun and Its Terrestrial Impacts)	塩川 和夫	米国、イギリス、フランス、ドイツ、オーストラリア、カナダ、イタリア、インド、中国など	SCOSTEP
短波レーダーによる極域・中緯度域電磁気圏の研究	西谷 望	米国 英国 フランス 南アフリカ オーストラリア カナダ イタリア ロシア 中国	JHUAPL、バージニア工科大学 レスター大学 LPC2E/CNRS ナタル大学 ラトロープ大学 サスカチュワン大学 IFSI ISTP/ SB RAS 中国極地研究所
南米における大気環境リスク管理システムの開発	水野 亮	アルゼンチン チリ	レーザー応用技術研究センター、アルゼンチン気象局 マゼラン大学、チリ気象局
野辺山電波ヘリオグラフを用いた太陽研究	増田 智	米国 中国 韓国 ロシア 英国 ドイツ	GSFC/NASA、カトリック大学 中国科学院国家天文台、山東大学 KASI、ソウル国立大学校 ロシア科学アカデミー ウォリック大学 ゲッティンゲン大学
米国 NASA/Radiation Belt Storm Probes (RBSP) 衛星計画	三好 由純	米国	NASA、JHUAPL
内部磁気圏のモデリング研究	三好 由純	米国	ロスアラモス国立研究所
ISSI-BJにおける脈動オーロラ国際研究プロジェクト	三好 由純	米国 中国 フィンランド チェコほか	UCLA 北京大学 ソダンキラ地球物理観測所 チェコ科学アカデミー
太陽面爆発の発生機構に関する研究	草野 完也	ドイツ	ポツダム大学
太陽面爆発の発生機構に関する観測研究	草野 完也	米国 中国	ニュージャージー工科大学 中国科学技術大学
太陽面爆発のモデリングに関する研究	草野 完也	米国	ハーバード・スミソニアン天体物理学センター
太陽フレアのトリガ機構に関する研究	草野 完也	英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
磁気リコネクションに関する研究	草野 完也	英国	マンチェスター大学
マイクロレンズ効果を利用した新天体の探索	阿部 文雄	ニュージーランド 米国	オークランド大学、カンタベリー大学、ビクトリア大学、マッセー大学 ノートルダム大学
LHC 加速器を用いた高エネルギー宇宙線相互作用の研究	伊藤 好孝	イタリア フランス スイス 米国	フィレンツェ大学、カタニア大学 フランス理工科学学校 CERN ローレンス・バークレー国立研究所
液体キセノン検出器を用いた暗黒物質・太陽ニュートリノの研究	伊藤 好孝	韓国	ソウル国立大学校、世宗大学校、韓国標準科学研究院

国際協力事業・国際共同研究	代表者	相手国（地域）	相手側機関
巨大水チェレンコフ検出器を用いた宇宙ニュートリノの研究	伊藤 好孝	米国 カナダ 英国 スペイン 韓国 中国 ポーランド	ボストン大学、ブルックヘブン国立研究所、UCI、デューク大学、ジョージ・メイソン大学、ハワイ大学、インディアナ大学、ロスアラモス国立研究所、メリーランド大学、ニューヨーク州立大学、ワシントン大学 ブリティッシュコロンビア大学、トロント大学、トライアンフ研究所 インペリアル・カレッジ・ロンドン、リバプール大学、ロンドン大学クイーン・メアリー、オックスフォード大学、シェフィールド大学 マドリッド大学 ソウル国立大学校、成均館大学校、全南大学校 清華大学 ワルシャワ大学
次世代大型水チェレンコフ検出器の開発研究	伊藤 好孝	米国 韓国 中国 英国 イタリア フランス スイス スペイン ポーランド ブラジル ほかカナダ、ロシア、ポルトガルなど	ブルックヘブン国立研究所、ロスアラモス国立研究所、ボストン大学、UCI、デューク大学、ジョージ・メイソン大学、ハワイ大学、インディアナ大学、メリーランド大学、ニューヨーク州立大学、ワシントン大学 ソウル国立大学校、全南大学校、成均館大学校 精華大学 インペリアル・カレッジ・ロンドン、オックスフォード大学、ロンドン大学クイーン・メアリー、ランカスター大学、シェフィールド大学、ラザフォード・アップルトン研究所 INFN パーリ、INFN ナポリ、INFN パドバ、INFN ローマ サクレー研究所、フランス理工科学校 チューリッヒ工科大学、ベルン大学 マドリッド大学 ワルシャワ大学 サンパウロ大学
RHIC 加速器を用いた高エネルギー宇宙線相互作用の研究	塚 隆志	イタリア 米国	フィレンツェ大学、カターニア大学 ブルックヘブン国立研究所
太陽中性子の研究	松原 豊	ボリビア アルメニア 中国 スイス 米国 メキシコ	ラパス・サンアンドレス大学 エレバン物理研究所 中国科学院高能物理研究所 ベルン大学 ハワイ大学国立天文台 メキシコ国立自治大学
フェルミ衛星を用いた宇宙線加速源、暗黒物質の研究	田島 宏康	米国 フランス イタリア スウェーデン	スタンフォード大学、SLAC 国立加速器研究所、GSFC/ NASA、米国海軍研究所、UCSC、ソノマ州立大学、ワシントン大学、パデュー大学、オハイオ州立大学、デンバー大学 サクレー原子力研究所、CNRS、フランス理工科学校 INFN、イタリア宇宙機関、IFSI スウェーデン王立工科大学、ストックホルム大学

国際共同研究・国際共同研究	代表者	相手国（地域）	相手側機関
CTA (チェレンコフ望遠鏡群)を用いた宇宙線加速源、暗黒物質の研究	田島 宏康	ドイツ フランス イタリア スペイン スイス 英国 米国 ポーランド、ブラジル、アルゼンチン、アルメニア、オーストリア、ブルガリア、クロアチア、チェコ、フィンランド、ギリシャ、インド、アイルランド、スロベニア、南アフリカ、スウェーデンなど	ドイツ電子シンクロtron研究所、マックス・プランク研究所、ハイデルベルグ大学 サクレ原子力研究所、フランス理工科学学校、パリ大学 INFN、IFSI バルセロナ大学、マドリード・コンプルテンセ大学 チューリヒ大学 ダラム大学、レスター大学 リード大学、SLAC 国立加速器研究所、アルゴンヌ国立研究所、ワシントン大学、アイオワ州立大学、UCLA、UCSC、シカゴ大学、スミソニアン天文台 ほか
硬 X 線撮像分光観測による太陽フレアの研究	田島 宏康	米国	UCB、MSFC/NASA、米国空軍研究所
ガンマ線撮像分光偏光観測による太陽フレアの研究	田島 宏康	米国	UCB、ローレンス・バークレー国立研究所、GSFC/NASA
樹木年輪の ¹⁴ C 単年測定による過去の宇宙線イベントの探索	三宅 美沙	米国 スイス	アリゾナ大学 スイス連邦工科大学チューリッヒ校
惑星間空間シンチレーション・ネットワークによる惑星間空間擾乱の研究	徳丸 宗利	イギリス ロシア インド メキシコ オーストリア	LOFAR グループ レベデフ物理学研究所 タタ基礎科学研究所 メキシコ国立自治大学 MWA グループ
太陽圏トモグラフィ法を用いた太陽風 3 次元構造とダイナミックスの研究	徳丸 宗利	米国	CASS/UCSD
惑星間空間シンチレーション観測の宇宙天気予報への応用に関する研究	徳丸 宗利	韓国	韓国宇宙天気センター
惑星間空間シンチレーション観測を利用した太陽圏外圏域の研究	徳丸 宗利	米国	IBEX 研究グループ
中緯度熱圏大気波動の南北共役点観測	塩川 和夫	オーストラリア	IPS Radio and Space Service
赤道大気エネルギーによる熱圏変動の研究	塩川 和夫	インドネシア	LAPAN
カナダ北極域におけるオーロラ・超高層大気の高感度光学観測	塩川 和夫	米国 カナダ	カリフォルニア大学、アウグスブルグ大学、バージニア工科大学 カルガリー大学、アサバスカ大学
赤道域中間圏・熱圏・電離圏変動のアジア経度と南米経度の比較研究	塩川 和夫	ブラジル	INPE
電離圏および超高層大気の観測・監視および研究	塩川 和夫	タイ	チェンマイ大学
ロシア極東域におけるオーロラ・超高層大気の高感度光学観測	塩川 和夫	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部宇宙物理学及び電波伝搬研究所
東南アジア・西アフリカ赤道域における電離圏総合観測	塩川 和夫	ナイジェリア コートジボアール	国立宇宙科学開発機関、ナイジェリア工科大学 フェリックス・ウフェ・ボワニ大学
ロシア・シベリア域における内部磁気圏の波動・粒子の観測	塩川 和夫	ロシア	IKFIA/SB RAS、ISTP/SB RAS

国際共同研究・国際共同研究	代表者	相手国（地域）	相手側機関
ISR と光学観測装置を用いた磁気圏-電離圏-熱圏結合研究	大山 伸一郎	米国 フィンランド	アラスカ大学フェアバンクス校 オウル大学
高エネルギーオーロラ電子がもたらす地球超高層大気・中層大気への影響の研究	大山 伸一郎	フィンランド ニュージーランド 英国 ノルウェー 米国	オウル大学、フィンランド気象研究所 オタゴ大学 英国南極調査局 スヴァールバル大学 アラスカ大学
EISCAT レーダーを主に用いた北極域超高層大気の研究	野澤 悟徳	ノルウェー 英国、スウェーデン、フィンランド、ドイツ、中国	トロムソ大学 EISCAT 科学協会
水星磁気圏探査衛星計画「MMO」におけるプラズマ粒子分析器の研究・開発	平原 聖文	フランス スウェーデン 英国 米国 スイス	CESR/ CNRS、 CETP/ IPSL スウェーデン王立宇宙物理学研究所 ラザフォード・アップルトン研究所 ボストン大学 ベルン大学 ほか
編隊飛行観測による地球電磁気熱圏探査のための将来衛星計画と衛星・地上連携観測の検討・協同	平原 聖文	スウェーデン	スウェーデン王立宇宙物理学研究所、 スウェーデン国立宇宙委員会
インド北部水田地帯におけるメタンの連続観測	松見 豊	インド	デリー大学
ハノイにおける PM2.5 観測	松見 豊	ベトナム	ハノイ理工科大学
ウランバートルにおける PM2.5 観測	松見 豊	モンゴル	モンゴル国立大学
太陽地球環境における高エネルギー粒子の生成と役割：気候変動への影響を探る	水野 亮	米国 ノルウェー スウェーデン	コロラド大学ボルダー校、UCLA、アリゾナ大学 トロムソ大学 EISCAT 科学協会
全球降水観測計画 (GPM)	増永 浩彦 高橋 暢宏	米国	NASA
熱帯降雨観測衛星	高橋 暢宏	米国	NASA
台風の航空機観測計画 T-PARCII	坪木 和久 篠田 太郎	台湾	国立台湾大学理学院大気科学系
統合陸域生態系－大気プロセス研究計画：Future Earth プログラム・コアプロジェクト	檜山 哲哉	英国、スウェーデン、フィンランド、中国ほか	iLEAPS/ Future Earth
Observational study of vegetation, energy and water in Eastern Siberia towards elucidation of climate and carbon cycle changes	檜山 哲哉	ロシア	ロシア科学アカデミー寒冷圏生物問題研究所
北極域研究推進プロジェクト	檜山 哲哉	米国	アラスカ大学フェアバンクス校、国際北極圏研究センター
Estimating Permafrost Groundwater age in Central Mongolia	檜山 哲哉	モンゴル	モンゴル科学アカデミー地理地生態研究所
大気海洋中の赤道波動に関する研究	相木 秀則	ドイツ	ヘルムホルツ海洋研究センター (GEOMAR)
静止衛星海色イメージャー (GOCI) の検証と日本沿岸水のモニタリングへの応用	石坂 丞二	韓国	韓国海洋科学技術院
GCOM-C 沿岸プロダクトの検証用データセット取得	石坂 丞二	韓国 米国 台湾 タイ 中国 エストニア	韓国海洋科学技術院 コロンビア大学、東カロライナ大学 台湾国立成功大学 ブラパ大学 国家海洋局第一海洋研究所、南京科学技術大学 タルトゥ大学
Sea Surface Nitrate and Nitrate Based New Production - two innovative research products from SGLI on board GCOM-C	石坂 丞二	米国	コロンビア大学
Investigating the optical characteristics of red tides in the upper Gulf of Thailand	石坂 丞二	タイ	ブラパ大学、カセサート大学

12. 国際交流

国際共同研究・国際共同研究	代表者	相手国（地域）	相手側機関
Validation of ocean color products in the western North Pacific and Japanese coastal waters: Collaboration with JAXA GCOM-C project	石坂 丞二	ドイツ	欧州気象衛星開発機構
Geochronological research on the basement rocks in Japan and Korea	加藤 丈典	韓国	韓国地質資源研究院 (KIGAM)
Development of new analytical techniques and accurate quantification of electron microprobe analysis	加藤 丈典	韓国	釜山大学校 (PNU)
Stable Isotopes in Precipitation and Paleoclimatic Archives in Tropical Areas to Improve Regional Hydrological and Climatic Impact Models	栗田 直幸	アルゼンチン、オーストラリア、バングラデシュ、ブラジル、中国、コスタリカ、エチオピア、カナダ、インド、シンガポール、米国	国際原子力機関 (IAEA)
Towards a Deeper understanding of Tropical Isoscapes	栗田 直幸	オーストラリア	ジェームスクック大学ケアンズ校
Research and Development on Geochemical Proxies of Isotope and Trace Element for Understanding of Earth and Universe Evolution Processes	田中 剛	韓国	韓国地質資源研究院 (KIGAM)
韓国地下水・温泉水の炭素 14 年代測定と水循環機構の研究	中村 俊夫	韓国	韓国地質資源研究院 (KIGAM)
Heidelberg pure CO ₂ intercomparison project	中村 俊夫	ドイツ	ハイデルベルグ大学
南インド湿原堆積物コア試料の高分解能年代測定による古環境変動に関する共同研究	中村 俊夫	インド	インド科学大学院大学
アフガニスタン・バーミアン遺跡の仏教壁画の ¹⁴ C 年代測定による編年	中村 俊夫	フランス	Directeur de la mission archeologique francaise
樹木年輪中の ¹⁴ C 濃度の高精度測定	中村 俊夫	米国	アリゾナ大学地球科学科
北米アラスカのアリューシャン列島のピート堆積物の年代測定	中村 俊夫	米国	アリューシャン博物館
インドネシアのバリ島に在するカルデラの噴火履歴	中村 俊夫	インドネシア	ガジャマダ大学地工学科
フィリピンのマール堆積物調査による湖底地形と形成期の研究	中村 俊夫	フィリピン	フィリピン火山地震研究所
1MV と 5MV AMS による ¹⁰ Be 測定精度・感度の比較	南 雅代	韓国	韓国地質資源研究院 (KIGAM)
Radiocarbon dating of Kraftu Cave guano deposit in Kurdistan, Iran	南 雅代	イラン	クルジスタン大学"
インド考古遺跡出土青銅器資料の ¹⁴ C 年代測定	小田 寛貴	インド	Deccan College
ロシア考古遺跡出土青銅器資料の ¹⁴ C 年代測定	小田 寛貴	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史学・考古学・民俗学研究所
ベトナム中部高原地域の気候変動復元	北川 浩之	ベトナム	ベトナム科学技術アカデミー
国際陸上科学掘削計画死海深層掘削プロジェクト	北川 浩之	イスラエル 米国 ドイツ スイス	Geological Survey of Israel、ヘブライ大学 コロンビア大学、ミネソタ大学ツインシティー校 German Research Centre for Geosciences、 マックス・プランク化学研究所 ジュネーブ大学

海外機関所属研究者の来訪

氏名	所属機関		期間	来訪時の身分
	国/地域	機関名		
Cai Lei	フィンランド	オウル大学	H28.7.1-H29.5.31	外国人共同研究員
Anglu Shen	中国	中国水産科学研究院	H28.9.1-H29.8.31	外国人共同研究員
Jie REN	中国	北京大学	H28.10.1-H30.1.31	外国人共同研究員
Martin Gerard Connors	カナダ	アサバスカ大学	H29.1.1-H29.5.31	外国人共同研究員
Joseph Benjamin Harold Baker	米国	バージニア工科大学	H29.1.1-H29.6.30 H30.1.7-H30.1.13	外国人共同研究員 研究集会等参加者
Bernhard Hartmut Kliem	ドイツ	ポツダム大学	H29.3.1-H29.5.31	外国人研究員
Berti Engenio	イタリア	フィレンツェ大学	H29.3.21-H29.4.9	外国人来訪者
Haimin Wang	米国	ニュージャージー工科大学	H29.4.12-H29.4.15	外国人来訪者
Antonio Ferriz Mas	スペイン	ビーゴ大学	H29.4.15-H29.4.17	外国人来訪者
Quing Chang	中国	中国科学院	H29.4.18-H29.4.21	外国人共同研究員
Wenzhe Jiao	中国	中国科学院	H29.4.18-H29.4.21	外国人共同研究員
Leka Kimberly Dawn	米国	NorthWest Research Associates	H29.4.18-H29.5.2 H29.9.4-H29.9.22 H29.10.30-H29.11.24	外国人共同研究員
Ventaka Subrahmanya Srinivasa Sarma Vedula	インド	インド国立海洋研究所	H29.5.1-H29.6.10	外国人研究員
Byambatseren Chuluunpurev	モンゴル	モンゴル国立大学	H29.5.8-H29.5.16 H29.12.18-H29.12.23	外国人共同研究員
Sonomdagva Chonokhuu	モンゴル	モンゴル国立大学	H29.5.8-H29.5.16 H29.12.18-H29.12.26	外国人共同研究員
Jeongwoo Lee	韓国	ソウル国立大学校	H29.5.9-H29.5.19 H30.2.9-H30.2.28	外国人共同研究員
Elena Kupriyanova	ロシア	Central Astronomical Observatory at Pulkovo of the RAS	H29.5.9-H29.7.11 H29.11.13-H29.11.15	外国人共同研究員
Tam Dao Ngoc Hanh	ベトナム	Ho Chi Minh Institute of Physics	H29.5.12-H29.8.4	外国人共同研究員
Janardhan Padmanabhan	インド	Physical Research Laboratory	H29.5.14-H29.6.5	外国人共同研究員
Xuchen Wang	中国	中国海洋大学	H29.5.15-H29.5.15	外国人来訪者
Yuejun Xue	中国	中国海洋大学	H29.5.15-H29.5.15	外国人来訪者
Savcheva Antonia	米国	スミソニアン天文台	H29.5.15-H29.5.19 H29.9.17-H29.9.30	外国人共同研究員
Dhaka Surendra Kumar	インド	デリー大学	H29.6.1-H29.7.31	外国人研究員
Ly Bich Thuy	ベトナム	ハノイ工科大学	H29.6.1-H29.8.31	外国人研究員

12. 国際交流

氏名	所属機関		期間	来訪時の身分
	国/地域	機関名		
Daniel Izuikedinachi Okoh	ナイジェリア	National Space Research and Development Agency	H29.6.2-H29.8.31	外国人共同研究員
Magnus Morton Woods	英国	Mullard Space Science Laboratory	H29.6.20-H29.8.21	外国人共同研究員
Hajihosseini Azizi	イラン	クルジスタン大学	H29.6.23-H29.8.23	外国人共同研究員
Jeonghoon Lee	韓国	Korea University of Technology and Education	H29.7.14-H29.7.14	外国人共同研究員
Jihye Kang	韓国	慶熙大学校	H29.7.18-H29.7.21	外国人来訪者
Nghiem Trung Dung	ベトナム	ハノイ工科大学	H29.7.18-H29.7.22	外国人共同研究員
Chih-Ying Yeh	台湾	国立東華大学	H29.7.18-H29.7.29	外国人来訪者
Venkata Ratnam Devanaboyina	インド	KL University	H29.7.19-H29.10.20	外国人共同研究員
Yoonyeol Yoon	韓国	Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources	H29.7.20-H29.7.25	外国人共同研究員
Sergii Panasenko	ウクライナ	Institute of ionosphere	H29.7.31-H29.9.29	外国人共同研究員
Hua Hsu	台湾	国立台湾大学	H29.9.8-H29.9.8	外国人来訪者
Hung-Chi Kuo	台湾	国立台湾大学	H29.9.8-H29.9.8	外国人来訪者
Hungjui Yu	台湾	国立台湾大学	H29.9.8-H29.9.8	外国人来訪者
Pei-Yuan Hsieh	台湾	国立台湾大学	H29.9.8-H29.9.8	外国人来訪者
Yuhan Chen	台湾	国立台湾大学	H29.9.8-H29.9.8	外国人来訪者
Sergey Anatolievich Tyul'bashev	ロシア	レベデフ物理学研究所	H29.9.10-H29.12.9	外国人共同研究員
Jih-hong Shue	台湾	国立中央大学	H29.9.11-H29.9.11	外国人来訪者
Helga Rosario Do Gomes	米国	コロンビア大学	H29.9.15-H29.12.14	外国人研究員
Joaquim Ignacio Goes	米国	コロンビア大学	H29.9.15-H29.12.14	外国人研究員
Ioannis Daglis	ギリシャ	アテネ大学	H29.9.15-H29.12.15	外国人研究員
Jianwei Lin	台湾	国立台湾大学	H29.9.25-H29.9.25 H29.12.18-H29.12.22	外国人共同研究員
Neethal Thomas	インド	インド地磁気研究所	H29.9.27-H29.9.28	外国人共同研究員
Stephen White	米国	米国空軍研究所	H29.10.3-H29.10.7	外国人来訪者
Angelos Vourlidis	米国	ジョンズホプキンス大学	H29.10.11-H29.11.2	外国人来訪者
Neel Prakash Savani-patel	米国	GSFC/ NASA	H29.10.13-H29.11.26	外国人共同研究員
Ivana Kolmasova	チェコ	The Czech Academy of Sciences	H29.10.14-H29.11.1	外国人共同研究員
Ondrej Santolik	チェコ	The Czech Academy of Sciences	H29.10.14-H29.11.1	外国人共同研究員

氏名	所属機関		期間	来訪時の身分
	国/地域	機関名		
Ulrich Taubenschuss	チェコ	The Czech Academy of Sciences	H29.10.14-H29.11.1	外国人共同研究員
Horky Miroslav	チェコ	The Czech Academy of Sciences	H29.10.14-H29.11.2	外国人共同研究員
Kang Jihye	韓国	Kyung Hee University	H29.10.15-H29.10.18	外国人来訪者
Zamri Zainal Abidin	マレーシア	マラヤ大学	H29.10.19-H29.10.19	外国人来訪者
Arakel Petrosyan	ロシア	ロシア科学アカデミー	H29.10.22-H29.10.28	外国人来訪者
Geeta Vichare	インド	インド地磁気研究所	H29.10.24-H29.10.27	外国人共同研究員
Graham Barnes	米国	NorthWest Research Associates	H29.10.28-H29.11.3	研究会等参加者
David Falconer	米国	アラバマ大学ハンツビル校	H29.10.29-H29.11.3	研究会等参加者
Leila Mays	米国	NASA	H29.10.29-H29.11.3	研究会等参加者
Shaun Bloomfield	英国	ノーザンプリア大学	H29.10.29-H29.11.3	研究会等参加者
Tarek Am Hamad Nagem	英国	ブラッドフォード大学	H29.10.29-H29.11.4	研究会等参加者
Diptiranjana Rout	インド	Physical Research Laboratory	H29.10.29-H29.11.22	外国人共同研究員
Junchul Mun	韓国	韓国宇宙天気センター	H29.10.30-H29.11.2	研究会等参加者
Sangwoo Lee	韓国	韓国科学技術院	H29.10.30-H29.11.2	研究会等参加者
Aoife Elizabeth Mc Closkey	アイルランド	トリニティ・カレッジ	H29.10.30-H29.11.3	研究会等参加者
Robert Steenburgh	米国	NOAA	H29.10.30-H29.11.3	研究会等参加者
Suzanne Jane Bingham	英国	Met Office	H29.10.30-H29.11.3	研究会等参加者
Emmanouil Georgoulis	ギリシャ	Academy of Athens	H29.10.30-H29.11.4	研究会等参加者
Hocheol Jeon	韓国	Radar&Space	H29.10.31-H29.10.31	外国人来訪者
Jaehyung Lee	韓国	韓国宇宙天気センター	H29.10.31-H29.10.31	外国人来訪者
Jaewoo Park	韓国	Radar&Space	H29.10.31-H29.10.31	外国人来訪者
Taeyoung Kim	韓国	Radar&Space	H29.10.31-H29.10.31	外国人来訪者
Yoon Kichang	韓国	韓国宇宙天気センター	H29.10.31-H29.10.31	外国人来訪者
Hsiu-shan Yu	米国	UCSD	H29.11.2-H29.11.2	外国人来訪者
Zesty S.B. Hamidi	マレーシア	マラ工科大学	H29.11.4-H29.11.11	研究会等参加者
Sarah Jabbari	オーストラリア	モナシュ大学	H29.11.4-H29.11.12	研究会等参加者
Lee Jaejin	韓国	韓国天文研究院	H29.11.5-H29.11.7	外国人共同研究員
Gopal Hazra	インド	インド科学大学院大学	H29.11.5-H29.11.13	研究会等参加者

12. 国際交流

氏名	所属機関		期間	来訪時の身分
	国/地域	機関名		
Rahul Yadav	インド	Udaipur Solar Observatory	H29.11.5-H29.11.16	研究集会等参加者
Eunkyung Lim	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Heesu Yang	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Jaheung Park	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Kyuhyou Cho	韓国	ソウル国立大学校	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Rok-Soon Kim	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Su-chan Bong	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Sujin Kim	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
Youngsil Kwak	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6	研究集会等参加者
宮下 幸長	韓国	韓国天文研究院	H29.11.6-H29.11.6 H30.3.19-H30.3.20	研究集会等参加者
Agustinus Gunawan Admiranto	インドネシア	インドネシア国立航空宇宙研究所	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Jie Hong	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Jingwen Zhang	中国	北京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Navin Chandra Joshi	韓国	慶熙大学校	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Pengfei Chen	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Samanta Tanmoy	中国	北京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Tangmu Li	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Wenjun Ding	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Yuhao Zhou	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Yun-Chen Yang	台湾	国立中央大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Ze Zhong	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
Zigong Xu	中国	南京大学	H29.11.6-H29.11.11	研究集会等参加者
林 啓志	中国	National Space Science Center, Chinese Academy of Science	H29.11.6-H29.11.11 H30.2.25-H30.3.2	研究集会等参加者
Yu Chen	台湾	国立中央大学	H29.11.6-H29.11.15	研究集会等参加者
Yu Lun Liou	台湾	国立中央大学	H29.11.6-H29.11.15	研究集会等参加者
Willi Exner	ドイツ	ブラウンシュヴァイク工科大学	H29.11.6-H29.12.1	外国人来訪者
Takuma Nakamura	オーストリア	Austrian Academy of Sciences	H29.11.11-H29.11.16	外国人共同研究員

氏名	所属機関		期間	来訪時の身分
	国/地域	機関名		
Wai-Leong Teh	マレーシア	Space Science Centre, Institute of Climate Change	H29.11.11-H29.11.16	外国人共同研究員
Uma Das	インド	Indian Institute of Information Technology Kalyani	H29.11.14-H29.12.29	外国人共同研究員
Chen-Jeih Pan	台湾	Institute of Space Sciences, National Central University	H29.11.20-H29.11.22	外国人来訪者
Andres Munoz Jaramillo	米国	サウスウエスト研究所	H29.11.24-H29.12.3	研究集会等参加者
Leif Svalgaard	米国	スタンフォード大学	H29.11.25-H29.12.2	研究集会等参加者
Lisa Upton	米国	High Altitude Observatory	H29.11.25-H29.12.2	研究集会等参加者
Mausumi Dikpati	米国	High Altitude Observatory	H29.11.25-H29.12.2	研究集会等参加者
Robert Cameron	ドイツ	マックス・プランク太陽系研究所 (MPS)	H29.11.25-H29.12.3	研究集会等参加者
Jie Jiang	中国	北京航空航天大学	H29.11.27-H29.12.2	研究集会等参加者
Chia-Chun Wu	台湾	Taiwan Typhoon and Flood Research Institute	H29.11.28-H29.11.28	外国人来訪者
Chi-June Jung	台湾	Taiwan Typhoon and Flood Research Institute	H29.11.28-H29.11.28	外国人来訪者
Hsuan-Wei Wang	台湾	Taiwan Typhoon and Flood Research Institute	H29.11.28-H29.11.28	外国人来訪者
Lei Feng	台湾	Taiwan Typhoon and Flood Research Institute	H29.11.28-H29.11.28	外国人来訪者
Ruoying He	米国	ノースカロライナ州立大学	H29.12.22-H29.12.22	外国人来訪者
John Michael Ruohoniemi	米国	バージニア工科大学電子情報工学科	H30.1.6-H30.1.13	研究集会等参加者
Alexandre Vasilyevich Koustov	カナダ	サスカチュワン大学	H30.1.7-H30.1.13	研究集会等参加者
Mark Lester	英国	レスター大学	H30.1.7-H30.1.13	研究集会等参加者
Seiji Yashiro	米国	Catholic University and GSFC/ NASA	H30.1.14-H30.1.24	外国人共同研究員
Ji Young Lee	韓国	国立中原文化財研究所	H30.1.17-H30.1.17	外国人来訪者
Jiseon Han	韓国	国立羅州文化財研究所	H30.1.17-H30.1.17	外国人来訪者
So Young Kang	韓国	国立文化財研究所	H30.1.17-H30.1.17	外国人来訪者
Esa Turunen	フィンランド	サダンキラ地球物理学観測所	H30.1.18-H30.1.24	外国人来訪者
Xingyao Chen	中国	中国科学院	H30.1.23-H30.2.10	外国人来訪者
Playfer Stephen Michael	英国	エジンバラ大学	H30.2.1-H30.7.31	外国人研究員
Jing Huang	中国	中国科学院	H30.2.4-H30.2.20	外国人共同研究員
Yin Zhang	中国	中国科学院	H30.2.4-H30.2.20	外国人共同研究員
Zhang Jin	中国	中国科学院	H30.2.4-H30.2.21	外国人共同研究員
Seung-Gu Lee	韓国	Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources	H30.2.5-H30.2.13	外国人共同研究員

12. 国際交流

氏名	所属機関		期間	来訪時の身分
	国/地域	機関名		
Carsten Bumann	ノルウェー	トロムソ大学	H30.2.17-H30.2.23	外国人共同研究員
Dorata Jozwicki	ノルウェー	トロムソ大学	H30.2.17-H30.3.1	外国人共同研究員
Tetsu Anan	米国	ナショナル・ソーラー天文台	H30.2.17-H30.3.1	研究集会等参加者
Alphonse Sterling	米国	MSFC/ NASA	H30.2.23-H30.3.1	研究集会等参加者
David Mckenzie	米国	MSFC/ NASA	H30.2.23-H30.3.1	研究集会等参加者
Dana W.longcope	米国	Montana State University	H30.2.26-H30.2.28	研究集会等参加者
Gregal Vissers	スウェーデン	ストックホルム大学	H30.2.26-H30.2.28	研究集会等参加者
Kevin Reardon	米国	国立ソーラー天文台	H30.2.26-H30.2.28	研究集会等参加者
Mark Rast	米国	コロラド大学ボルダー校	H30.2.26-H30.2.28	研究集会等参加者
Thomas Schad	米国	国立ソーラー天文台	H30.2.26-H30.2.28	研究集会等参加者
Linda Ellen Sugiyama	米国	マサチューセッツ工科大学	H30.3.6-H30.3.8	外国人来訪者
Periasamy Kaliappan Manoharan	インド	タタ基礎科学研究所	H30.3.11-H30.3.30	外国人共同研究員
Hwang Junga	韓国	韓国天文研究院	H30.3.15-H30.3.21	外国人共同研究員
Zhongping Lee	米国	マサチューセッツ大学ボストン校	H30.3.15-H30.6.14	外国人研究員
Junga Hwang	韓国	韓国天文研究院	H30.3.19-H30.3.20	研究集会等参加者
原田 裕己	米国	アイオワ大学	H30.3.19-H30.3.20	研究集会等参加者
今井 雅文	米国	アイオワ大学	H30.3.19-H30.3.21	研究集会等参加者
二穴 喜文	スウェーデン	Swedish Institute of Space Physics	H30.3.19-H30.3.22	研究集会等参加者
Antonia Savcheva	米国	スミソニアン天文台	H30.3.19-H30.3.30	外国人来訪者

海外機関所属の講師によるセミナー・講演

講演日	発表者	所属機関	企画名・発表タイトル	参加人数
H29.4.3	Haimin Wang	ニュージャージー工科大学	Recent Scientific Results of 1.6m New Solar Telescope at Big Bear Solar Observatory	15
H29.4.17	Antonio Ferriz Mas	Facultad de Ciencias, de Orense Universidad de Vigo	The thin flux-tube approximation and some applications in solar/stellar magnetism	15
H29.4.21	Fulvia Pucci	プリンストン大学プラズマ物理学研究所	Flares, CMEs and explosive events: the “ideal” tearing mode and fast reconnection triggering in magnetized plasmas, from fluid to kinetic scales.	16
H29.4.24	Kimberly Dawn Leka [*]	NorthWest Research Associates	Solar Flares and Space Weather Forecasting	19
H29.5.11	Ch Sonomdagva	モンゴル国立大学	The air pollution study in Ulaanbaatar city, Mongolia	9
H29.5.15	Andrew Hillier	エクセター大学	The linear growth of oscillation driven magnetic Kelvin-Helmholtz Instability	22
H29.5.15	Bernhard Hartmut Kliem [*]	ポツダム大学	Decay index profile and coronal mass ejection speed	26
H29.5.17	Antonia Savcheva	ハーバード・スミソニアン天体物理学センター	Solar Sigmoidal Active Regions: From Formation to Eruption	24
H29.5.19	Janardhan Padmanabhan	Physical Research Laboratory, India	Declining solar activity: Is the sun going into hibernation?	8
H29.6.12	Elena Kupriyanova	Central Astronomical Observatory at Pulkovo of the RAS	About method of multi-wavelength diagnostics of mechanism of quasi-periodic pulsations in solar flares	21
H29.7.6	Surendra Kumar Dhaka [*]	デリー大学	An overview of convective sources and dynamical processes in shaping the troposphere and stratosphere	7
H29.7.7	Daniel Izuikedinachi Okoh [*]	National Space Research and Development Agency	Occurrence frequency of Equatorial Plasma Bubbles over West Africa using an All-sky Airglow Imager and GNSS receivers	26
H29.7.10	Magnus Morton Woods [*]	Mullard Space Science Laboratory	Observations and Modelling of the Pre-flare Period of the 29 March 2014 X1 Flare	14
H29.7.14	Jeonghoon Lee	韓国技術教育大学校	Photothermal Interferometry: An alternative tool for measuring light absorbing carbon	7
H29.7.19	Jihye Kang	慶熙大学校	Distribution Characteristic of Coronal Electric Current Density as an Indicator for Occurrence of a Solar Flare	11
H29.7.19	Nghiem Trung Dung	ハノイ工科大学	Nanoparticles in Hanoi: Level, chemical compositions and potential sources	9
H29.9.1	Sergii V.Panasenko [*]	Institute of ionosphere	Ionospheric Research in Ukraine using Kharkiv Incoherent Scatter Facility	25
H29.9.7	Venkata Ratnam Devanaboyina [*]	KL University	Ionospheric Total Electron Content Forecasting Algorithms using Ground Based GNSS observations over India and Japan	37

講演日	発表者	所属機関	企画名・発表タイトル	参加人数
H29.9.8	Hung-Chi Kuo	国立台湾大学	Research introduction (monsoon, typhoon, precipitation, etc.).	25
H29.10.10	Sergey Anatolievich Tyul'bashev ^{**}	レベデフ物理学研究所	Space Weather from IPS Observations at 111 MHz	9
H29.10.23	Angelos Vourlidas	JHU/ APL	The Magnetic Flux Rope Nature of Coronal Mass Ejections	25
H29.10.26	Ondrej Santolik	チェコ科学アカデミー	From lightning to chorus	17
H29.10.27	Geeta Vichare	インド地磁気研究所	Overview of low latitude current systems	24
H29.10.30	M. Leila Mays	GSFC/ NASA	The Community Coordinated Modeling Center: A Hub for Advancing Space Science and Space Weather Capabilities	30
H29.11.10	Diptiranjan Rout	Physical Research Laboratory, India	Magnetosphere-Ionosphere-Thermosphere System Under Varying Space Weather Conditions	6
H29.11.15	Ioannis A. Daglis ^{**}	アテネ大学	Storms, substorms, particles and waves: the quintessence of geospace weather	17
H29.11.16	Willi Exner	Technische Universität Braunschweig	CME Impacts onto the Hermean Magnetosphere	11
H29.11.22	C. J. Pan	Institute of Space Sciences, National Central University	Effect of Kelvin Waves on stratospheric QBO during El Nino periods using ECMWF reanalysis data	15
H29.11.24	Joaquim I. Goes ^{**}	コロンビア大学	(1) The role of the Aleutian Low Pressure System in regulating phytoplankton production and carbon export in the North Pacific Ocean	15
	Helga do Rosario Gomes ^{**}		(2) The contrasting influence of two large revers on the biogeography of phytoplankton communities across the river-ocean continuum	
H29.11.24	Uma Das	Indian Institute of Information Technology Kalyani	Tidal Variability in the Middle and Upper Atmosphere	36
H29.11.26	Chi-June Jung	Taiwan Typhoon and Flood Research Institute	Applications of Unmanned Aircraft Sounding System in Taiwan	23
	Hsuan-Wei Wang	Taiwan Typhoon and Flood Research Institute	Airborne observation: Experience of DOTSATR and Future	
H29.12.22	Ruoying He	ノースカロライナ州立大学	Observational and Modeling Study of Ocean Circulation, Air-sea Interactions, and Biogeochemical Processes in the Northwest Atlantic Coastal Ocean	20
H30.1.11	Mark Lester	レスター大学	Radio Sounding of Planetary Ionospheres: Examples at Earth and Mars	20
H30.2.6	Chen Xingyao	中国科学院国家天文台	Spectral and Imaging analysis of the solar radio bursts observed by LOFAR and MUSER	7
	Huang Jing	中国科学院国家天文台	The microwave emission of an eruptive prominence	
	Zhang Yin	中国科学院国家天文台	VLA Observations of A M8.4 Flare	

講演日	発表者	所属機関	企画名・発表タイトル	参加人数
H30.2.13	Lynn Marie Kisteler ^{**}	ニュー・ハンプシャー大学	Contributions of Oxygen to the Storm-Time Ring Current	24
H30.3.7	Linda E. Sugiyama	マサチューセッツ工科大学	The structure of solar coronal loops	9
H30.3.19	Periasamy Kaliappan Manoharan	タタ基礎科学研究所	Space Weather and Solar Wind Studies with the Ooty Radio Telescope	11
H30.3.22	Daniel Philip Stern	米国海軍研究所	Understanding Extreme Updrafts and Wind Gusts Using Dropsondes and Large-Eddy Simulations	15
H30.3.23	Antonia Savcheva	ハーバード・スミソニアン天体物理学センター	Data-constrained MHD simulations of Erupting Solar Active Regions	13
H30.3.23-24	Daniel Philip Stern	米国海軍研究所	(1) The Structure and Dynamixs of the Tropical Cyclone Eyewall (2) The Tropical Cyclone Warm Core (3) Understanding Extreme Updrafts and Wind Gusts Using Dropsonde Observations and Large-Eddy Simulations	19
H30.3.28	Frederic Clette	ベルギー王立天文台	Sunspot and synoptic science at the World Data Center SILSO	13

**兼 ISEE 所属

<略称>

APL:	Applied Physics Laboratory
CASS:	Center for Astrophysics and Space Sciences
CERN:	Conseil Européen pour la Recherche Nucléaire, European Organization for Nuclear Research
CESR:	Centre d'Etude Spatiale des Rayonnements
CETP:	Centre d'étude des environnements terrestres et planétaires
CNRS:	Centre National de la Recherche Scientifique
EISCAT:	European Incoherent Scatter Scientific Association
GSFC:	Goddard Space Flight Center
IBEX:	Interstellar Boundary Explorer
IFSI:	Istituto di Fisica dello Spazio Interplanetario
iLEAPS:	Integrated Land Ecosystem-Atmosphere Processes Study
IKFIA:	Institute of Cosmophysical Research and Aeronom
INFN:	Istituto Nazionale di Fisica Nucleare
INPE:	Instituto Nacional de Pesquisas Espaciais, Brazilian Institute of Space Research
IPS:	Ionospheric Prediction Services
IPSL:	Institut Pierre-Simon Laplace
ISTP:	Institute of Solar-Terrestrial Physics
JHUAPL:	Johns Hopkins University Applied Physics Laboratory
KASI:	Korea Astronomy and Space Science Institute
LAPAN:	Lembaga Penerbangan dan Antariksa Nasional, National Institute of Aeronautics and Space
LOFAR:	Low Frequency Array
LPC2E:	Laboratoire de Physique et Chimie de l'Environnement et de l'Espace
MSFC:	Marshall Space Flight Center
MWA:	Murchison Widefield Array
NASA:	National Aeronautics and Space Administration
SB RAS:	Siberian Branch, Russian Academy of sciences
SCOSTEP	Scientific Committee on Solar Terrestrial Physics
UCB:	University of California, Berkeley
UCI:	University of California, Irvine
UCLA:	University of California, Los Angeles
UCSC:	University of California, Santa Cruz
UCSD:	University of California, San Diego

海外派遣

■ 教員の外国出張

(2017年4月1日 - 2018年3月31日)

地域	渡航先	人数(延)	
アジア地域 (11)	インド	2	52
	インドネシア	1	
	シンガポール	10	
	タイ	3	
	パキスタン	1	
	フィリピン	1	
	ベトナム	5	
	モンゴル	1	
	韓国	7	
	台湾	12	
	中国	9	
北米 (2)	カナダ	42	49
	米国	7	
中南米 (3)	アルゼンチン	3	6
	コスタリカ	1	
	チリ	2	
欧州 (13) (NIS 諸国を含む)	英国	4	59
	イタリア	5	
	オーストリア	3	
	スイス	2	
	スペイン	4	
	チェコ	3	
	ドイツ	4	
	ノルウェー	13	
	フィンランド	6	
	フランス	7	
	ベルギー	1	
	ポルトガル	1	
	ロシア	6	
オセアニア (2)	オーストラリア	1	2
	ニュージーランド	1	
中東 (2)	アラブ首長国連邦	1	4
	イラク	1	
アフリカ (2)	ナイジェリア	1	2
	南アフリカ	1	
合計		35	175

13. 社会活動

一般向け講演会・施設の一般公開・出前授業・体験学習等

開催期間	企画名称 (会場)	概要、講演タイトルなど	主催・共催	出演・登壇	参加人数
H29.5.3	宇宙学校・さがみはら (相模女子大学グリーンホール)	「宇宙の嵐に挑む「あらせ」衛星」	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、公益財団法人相模原市民文化財団、相模原市	三好 由純	200
H29.5.19	第5回中部ライフガード TEC2017 防災・減災・危機管理展 (ポートメッセなごや2号館)	「気象災害の現状と地球温暖化に伴う将来変化」	名古屋国際見本市委員会、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(事務局:国土交通省中部地方整備局)	坪木 和久	不明
H29.5.30	なごや環境大学共育講座:実験・観察で知る身の回りの環境:「公開講座」 (港生涯学習センター:名古屋市)	「放射性炭素を用いて環境を探ろう～環境試料の放射性炭素濃度測定により環境問題の解明をめざす～」	なごや環境大学共育講座名古屋市環境科学調査センター	中村 俊夫	54
H29.6.10	研究所一般公開と講演会「最先端の技術で測る宇宙地球環境」 (名古屋大学研究所共同館 I、II)		*1 参照		一般公開: 220 講演会:80
H29.6.24	科学ライブショー「ユニバース」 (科学技術館:東京都千代田区)	「月の夜側で何が起きているか?」	科学技術館	西野 真木	100
H29.7.8	NHK文化センター講座 (NHK文化センター名古屋教室)	「巨大フレアの脅威」	(株)NHK文化センター名古屋総支社	草野 完也	40
H29.7.15	夢ナビライブ2017名古屋会場 (ポートメッセなごや)	学問の講義ライブ7限目「オーロラと宇宙の天気」	夢ナビ中部高等学校進路連絡協議会	三好 由純	200
H29.7.21	南山高等・中学校女子部の生徒の来訪 (名古屋大学研究所共同館 I)	大気中の二酸化窒素の計測に関する相談	南山高等・中学校女子部	松見 豊 中山 智喜	6
H29.8.3-8.4	夏休み体験学習「東海の地球環境史を学ぼう」 (名古屋大学研究所共同館 II、ふじのくに地球環境史ミュージアム、日本平、美保の松原)		*2 参照		27
H29.8.5-8.6	2017年度「名古屋大学宇宙地球環境研究所太陽風観測所および東京大学理学部天文学教育研究センター木曾観測所」特別公開(長野県木曾郡)	大型アンテナや望遠鏡、施設内の装置を公開、パネルを用いた研究紹介	名古屋大学宇宙地球環境研究所、東京大学木曾観測所(地域貢献特別事業)	太陽圏研究部 スタッフ 学生	130
H29.8.16	NHK文化センター名古屋教室 講座「ここまでわかった太陽の謎」 (NHK文化センター名古屋教室)	「電波で探る太陽と太陽風」	(株)NHK文化センター名古屋総支社	岩井 一正	15
H29.8.22	名古屋市立名東高等学校大学訪問講演会 (名古屋大学研究所共同館 II)	「古文書の理学的鑑定ー文理融合型研究ー、大学進学のため、高校時代に何をすべきか」	名古屋市立名東高等学校	小田 寛貴	16
H29.8.24	岡崎高校夏期体験学習 (名古屋大学研究所共同館 I、II)	オーロラ、宇宙線、降水の講義と霧箱による宇宙線観測・回転水槽実験、降雨レーダの見学、ラジオゾンデ放球の体験など	愛知県立岡崎高等学校	石坂 丞二 高橋 暢宏 毛受 弘彰 塩川 和夫 篠田 太郎 古澤 文江 相木 秀則 大石 俊	27
H29.8.25	SSH事業:大学訪問研究 (名古屋大学研究所共同館 II)	「古生物・考古学試料の“年齢”を決める～放射性炭素年代測定法とその応用～」	愛知県立豊田西高等学校、名古屋大学	榎並 正樹 南 雅代 加藤 丈典	17
H29.8.25	宇宙科学セミナー (東京国立近代美術館フィルムセンター)	「宙(そら)の嵐の中へ:あらせ衛星の挑戦」	宇宙航空研究開発機構、相模原市、東京国立近代美術館、宇宙科学振興会	三好 由純	200
H29.8.28-8.30	第26回公開セミナー「天文学の最前線」ー宇宙における爆発・衝突現象ー (名古屋市科学館、名古屋大学)	「太陽フレアと恒星の進化」 「宇宙線の旅:宇宙での爆発から地上での衝突へ」	名古屋大学大学院理学研究科・宇宙地球環境研究所、名古屋市科学館	今田 晋亮 毛受 弘彰	講演会・座談会:250 研究室紹介:80

開催期間	企画名称 (会場)	概要、講演タイトルなど	主催・共催	出演・登壇	参加人数
H29.8.30	皇學館高校大学訪問 (名古屋大学研究所共同館Ⅱ)	宇宙地球環境研究所で行われている研究および設備の紹介	皇學館高校	榎並 正樹 加藤 丈典	8
H29.9.2	大学連携講座「おおぶアカデミー」 (大府市立森岡公民館)	オーロラなどの宇宙現象について	大府市	平原 聖文	20
H29.9.5	NHK 文化センター宇宙講座 (NHK 文化センター名古屋教室)	「最新の惑星の姿」	(株)NHK 文化センター 名古屋総支社	水野 亮	70
H29.9.19	出前授業「時事問題の理解」 (市邨高等学校)	地球温暖化と海洋生態系	市邨高等学校	石坂 丞二	100
H29.9.26	SIP 防災シンポジウム 2017～科学技術と現場の力が結集 (フクラシア東京ステーション)	「マルチパラメータフェーズドアレイ気象レーダの開発と豪雨・竜巻の早期予測の実現」	内閣府、科学技術振興機構	高橋 暢宏 ほか	1029
H29.10.2 H29.10.30	名古屋市立緑高等学校人間総合講演会(名古屋大学立緑高等学校)	「放射能・放射線の基礎とトランス・サイエンスの問題」	名古屋市立緑高等学校	小田 寛貴	360
H29.10.21	第13回名古屋大学ホームカミングデー (名古屋大学豊田講堂ホワイエ1階)	ブースを設け、研究所紹介のパネル展示および動画の放映等を行った	名古屋大学	研究所構成員	210
H29.10.26	ASF サイエンストーク 図書館サイエンス夜話～シリーズ“宇宙”～ (名古屋市鶴舞中央図書館第一集会室)	第三夜「超小型衛星で切り開く宇宙フロンティア」	名古屋市鶴舞中央図書館、名古屋大学	田島 宏康	50
H29.10.28 H29.11.17	岩倉市生涯学習講座 (岩倉市生涯学習センター)	「オーロラと宇宙の天気」	岩倉市	三好 由純	80
H29.11.1	名大キャンパス見学ツアー (名古屋大学研究所共同館Ⅰ)	「太陽・宇宙線の歴史を樹木で探る」	麗澤瑞良中学・高等学校	宇宙線研究部	15
H29.11.10	平成29年度地域貢献特別支援事業「陸別町社会連携連絡協議会連携講座:出前授業」(陸別町立陸別小学校・陸別中学校)		*3① 参照		65(小学校) 44(中学校)
H29.11.11	平成29年度地域貢献特別支援事業「驚き!おもしろ科学実験2017」 (りくべつ宇宙地球科学館)		*4 参照		100
H29.11.13	名古屋大学附属中学体験学習 (名古屋大学研究所共同館Ⅰ)	生命と環境について	名古屋大学教育学部 附属中学校	草野 完也	1
H29.11.14	愛知県立旭丘高校理科特別講座 (愛知県立旭丘高等学校)	巨大太陽フレア爆発の脅威!	愛知県立旭丘高等学校	草野 完也	30
H29.11.17	SSH訪問インタビュー調査 (名古屋大学研究所共同館Ⅰ)	オーロラと低緯度オーロラに関する研究	滋賀県立虎姫高等学校	塩川 和夫	4
H29.11.22	一般社団法人不動産協会 講演会 (中日ビル・クラブ東海:名古屋)	台風と豪雨災害の現状と地球温暖化に伴う将来変化	一般社団法人不動産協会	坪木 和久	20
H.29.11.25	平成29年度地域貢献特別支援事業「陸別町社会連家連絡協議会連携講座:土曜出前授業」(陸別町立陸別中学校)		*3② 参照		44
H29.11.29	平成29年度全球降水観測計画(GPM)国内シンポジウム「宇宙から見る雨～これまでの20年、これからの20年～」 (富士ソフトアキバプラザホール:東京都千代田区)	「降水観測ミッションの将来計画について」	宇宙航空研究開発機構	高橋 暢宏 ほか	190
H29.11.30	「リカタビ。」事前レクチャー (関西学院千里国際高等部)	PM2.5の計測についての講義・実習	関西学院千里国際高等部 SGH	松見 豊	6
H29.12.2	名古屋大学宇宙地球環境研究所公開講演会「地球を観る」(名古屋大学理学南館 坂田・平田ホール)		*5 参照		155

13. 社会活動

開催期間	企画名称 (会場)	概要、講演タイトルなど	主催・共催	出演・登壇	参加人数
H29.12.15	第69回 知の拠点セミナー (京都大学東京オフィス)	「東シベリアとモンゴルにおける気候変動：永久凍土の融解はこのまま進行するのか？」	国立大学共同利用・共同研究拠点協議会	檜山 哲哉	58
H29.12.16	青少年のための科学の祭典 (鹿児島県垂水市キララドーム)	「地磁気をはかろう」	鹿児島県垂水市教育委員会 (地域貢献特別事業)	塩川 和夫 学部生 4名	550
H29.12.18	「リカタビ。」 in 名古屋大学宇宙地球環境研究所「気候変動を科学しよう！」 (名古屋大学研究所共同館 I)	地球温暖化とエアロゾル (PM2.5) の授業と実験	関西学院千里国際高等部 SGH	松見 豊 中山 智喜	6
H29.12.23	SSH 事業：大学訪問研究 (名古屋大学研究所共同館 II)	年代測定試料調製	愛知県立豊田西高等学校、名古屋大学	南 雅代 榎並 正樹	3
H30.1.21	中日文化センター講座「巨大太陽フレアと地球環境」 (栄中日ビル：名古屋市)	「巨大太陽フレアと宇宙天気」	中日文化センター	草野 完也	23
H30.2.10		「太陽フレアが生み出すオーロラ」		塩川 和夫	23
H30.2.18		「地球を取り巻く宇宙環境：プラズマが満ちた世界」		平原 聖文	24
H30.2.18	半田高校 SSH 第5回サイエンスコミュニケーション (愛知県立半田高等学校)	「太陽活動と地球環境～我々が生きる宇宙の明日を予測するために～」	愛知県立半田高等学校	草野 完也	50
H30.2.28	国立大学附置研究所・センター長会議 (JCRIC) × ナレッジキャピタル -日本の研究、最前線- (グランフロント大阪 ナレッジキャピタル CAFE Lab.)	「巨大太陽フレアから地球を守れ！-明日の宇宙地球環境を予測するために-」	一般社団法人ナレッジキャピタル・株式会社 KMO・国立大学附置研究所・センター長会議	草野 完也	50
H30.3.3	公開講演会「様々な手法で関東の、世界の降水を測る (千葉大学西千葉キャンパス けやき会館大ホール)」	「世界をリードする日本の降水レーダ (地上設置, 衛星搭載レーダ)」	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	高橋 暢宏	30
H30.3.10	朝日カルチャーセンター講座 (朝日カルチャーセンター名古屋教室)	「巨大太陽フレアと宇宙の嵐」	朝日カルチャーセンター	草野 完也	40
H30.3.11	第25回自然科学研究機構シンポジウム「プラズマが拓く無限の可能性 ～エネルギー、医療、産業、そして宇宙～」(名古屋大学理学南館 坂田・平田ホール)	「宇宙プラズマの嵐から地球を守れ」	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	草野 完也	200
H30.3.18	中日文化センター講座「巨大太陽フレアと地球環境」(栄中日ビル：名古屋市)	「古木に記された過去の巨大フレア」	中日文化センター	三宅 美沙	27
H30.3.21	名古屋大学宇宙地球環境研究所・蒲郡市生命の海科学館共催企画「海を観る・地球を知る」体験！海洋研究最前線 in 蒲郡 (生命の海科学館)	講演会「宇宙から海洋プランクトンを観る」	名古屋大学宇宙地球環境研究所 蒲郡市生命の海科学館	石坂 丞二	60
		ブース展示 1：プランクトン顕微鏡観察 2：宇宙から見た海洋 3：回転水槽実験		海洋学研究室メンバー	200
H30.3.21	名古屋大学オープンレクチャー2018 (名古屋大学理学南館 坂田・平田ホール)	「オーロラと宇宙のはなし」	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部	塩川 和夫	55
H30.3.23	理系大学生のための「太陽研究最前線体験ツアー」 (名古屋大学研究所共同館 I)	講義「宇宙天気と宇宙気候：太陽活動を予測する」、「太陽フレアにおける粒子加速」	名古屋大学宇宙地球環境研究所、京都大学大学院理学研究科附属天文台、国立天文台 (太陽観測科学プロジェクト)、東京大学太陽天体プラズマ研究室、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、太陽研究者連絡会	草野 完也 増田 智	9

*1：研究所一般公開と講演会の開催

研究所で行われている研究内容を一般に広く知ってもらうために、名大祭と連携して2017年6月10日（土）-11日（日）、第2回宇宙地球環境研究所一般公開「最先端の技術で測る宇宙地球環境」を実施した（主催・共催：名古屋大学、第58回名大祭、宇宙地球環境研究所）。

① 研究室公開（6月10日10:00-17:00）・・・研究施設を公開し、パネル展示、実験や体験を通して理解を深める参加型展示やイベント、宇宙や地球の映像を楽しめるシアターなどを用意した。教員や大学院生らがこれらを解説・説明するほか、参加者からの質問に答えるなどし、子どもから大人までが楽しめる内容を工夫した。名大祭企画の「ラボレクチャー」も同時に実施され、この企画の参加者らが午前と午後の各一回、研究所を訪れた。

② 特別講演会（6月10日13:00-15:00）・・・研究所共同館Ⅱ3階ホールにおいて、特別講演会を開催。三好由純准教授（統合データサイエンスセンター）による『あらせが挑む宙（そら）の嵐』と高橋暢宏教授（飛翔体観測推進センター）による「最先端のレーダによる雲・降水の観測」の2つの講演を実施した。

③ 名大祭合同展示会（6月10日、11日10:00-17:00）・・・名古屋大学豊田講堂シンポジオン会議室において名大祭の合同展示にも参加した。研究内容や成果についてのポスター展示をし、教員や大学院生がこの説明を行った。また、研究所で発行している一般向けの冊子などの展示・配布も行った。

*2：夏休み特別企画・体験学習「東海の地球環境史を学ぼう」の開催

2017年8月3日（木）、4日（金）、本研究所在年代測定研究部が中心となり、小学校高学年の児童を対象とした夏休み特別企画・体験学習「東海の地球環境史を学ぼう」を実施した（主催：宇宙地球環境研究所、共催：ふじのくに地球環境史ミュージアム館）。

この企画は児童が「学習する（教員が地球環境史を解説）」、「実験する（研究で使う実験機器を用いて調べる）」、「体験する（野外調査に出かけて自然にふれる）」という2日間連続のユニークな体験学習で、平成29年度名古屋大学地域貢献事業として開催した。

プログラムは次のとおり。①一日目・・・名古屋大学で地球環境史に関する講義および実験・実習（講師：榎並正樹・本研究所教授、南雅代・本研究所教授）。②二日目・・・野外調査（大型貸切バスで移動）。ふじのくに地球環境史ミュージアムの見学（現地対応：山田和芳・ふじのくに地球環境史ミュージアム教授）、有度丘陵の成り立ち、富士山の形成、三保の松原の松枯れの巡検（現地対応：菅原大助・同ミュージアム准教授、北村晃寿・静岡大学理学部教授）。

*3：陸別町社会連携連絡協議会連携講座「出前授業」の開催

陸別町（北海道足寄郡）と本研究所は2003年3月、両者による社会連携連絡協議会を発足させ、さらに2012年には陸別町・名古屋大学・北海道大学・北見工業大学・国立環境研究所・国立極地研究所の6機関による陸別町社会連携連絡協議会を発足させた。本研究所はその幹事機関として、定期的に地域貢献の計画と運営に関する会議を開催し、広範なテーマで出前授業やイベントの開催を行っている。

本年度の出前授業は次の通り。①2017年11月10日（金）、陸別町立陸別小学校と同中学校において、本研究所、北海道大学、北見工業大学の教員と学生らが参加し実施した。本研究所からは増田智准教授と研究員2名が「太陽の分光観測の話と分光器工作・実験」と題する授業を行った。②2017年11月25日（土）に陸別中学校土曜授業において実施した。本研究所からは寺本万里子特任助教と小路真史特任助教が参加し、「ERG（あらせ）衛星」に関する授業を行った。

なお、この実施には平成29年度地域貢献特別支援事業の支援を受けた。

*4：「驚き！おもしろ科学実験2017」の開催

2017年11月11日（土）、りくべつ宇宙地球科学館（銀河の森天文台）にて「驚き！おもしろ科学実験2017」を開催した。（共催：りくべつ宇宙地球科学館、宇宙地球環境研究所、北海道大学大学院理学院、北見工業大学社会連携推進センター、足寄動物化石博物館）

会場の1階展示室には共催機関の教員や学生らが工夫を凝らした実験コーナーを設けた。本研究所は「分光（光を分ける）実験！！」と題して、「工作：分光器をつくってみよう」「実験：いろいろな光を分光してみよう」「説

明：太陽をさまざまな光で観測する」を行った。また、ミニ講演会「映像で伝えられること～宇宙番組の制作現場から」（安藤良美：株式会社イー・ディメンション代表）も同時に開催された。親子連れを中心に 100 名を超える来場者があり、体験しながら科学の面白さを学べるイベントを楽しんだ。（平成 29 年度地域貢献特別支援事業）

***5：研究所公開講演会「地球を観る」の開催**

2017 年 12 月 2 日（土）13：00-16：30 名古屋大学理学南館 坂田・平田ホールにおいて、一般市民や学生を対象にした講演会を開催し、155 名の参加があった。（主催：宇宙地球環境研究所）

本講演会は「地球」をキーワードに最新の研究の一端を紹介。内容は次の通り。①あいさつ（塩川和夫：本研究所副所長）、②要旨説明（榎並正樹：本研究所教授）、③講演「月を観たら地球が観える」（諸田智克：名古屋大学大学院環境学研究科講師）、④講演「宇宙から海洋のプランクトンを観る」（石坂丞二：名古屋大学宇宙地球環境研究所教授）、⑤講演「ちきゅう深部を掘ってみよう！」（阿部なつ江：JAMSTEC 主任技術研究員）⑥講演「地球の CT-地震波で観る地下 3000 km-」（大林政行：JAMSTEC 主任研究員）⑦総合討論（講演者 4 名、司会・榎並正樹）。

それぞれの講演に加え、総合討論や会場からの質疑への応答などを通して、多岐にわたる話題がのぼり、研究者と参加者が一緒に考える幅広い内容となった。

■ その他の広報活動

1. 一般向け冊子の制作・配布

宇宙地球環境を題材にした科学解説「50 のなぜ」シリーズや科学コミックシリーズなどの小冊子を制作し、研究所公開や講演会、ポスター展示などに合わせて一般に配布している。最先端の研究を分かりやすい言葉で解説し、広く社会に紹介することで、研究成果を国民へ還元している。これらの冊子は、りくべつ宇宙地球科学館に常時置かれている。また、Web にて公開もしており、本年度はこの普及のための紹介ポストカードを作成し、愛知県立高等学校普通科生徒への配布を開始した。

2. Newsletter の発行

本研究所の最新情報を伝えるために、ニュースレターを発行している。研究内容の紹介やイベント等の開催報告、ニュース、コラムなどを掲載し、2017 年度は Vol.4（2017 年 6 月）と Vol.5（2018 年 1 月）を発行した。

3. ウェブページの運用

本研究所のウェブページ (<http://www.isec.nagoya-u.ac.jp/>) を公開している。同ページに「Topics」と「今月の 1 枚」のコーナーを設けて最新の研究成果等を公表すると同時に、研究所発行各種冊子の PDF ファイルを掲載し、研究所の活動と研究成果の最前線を一般市民に即座に伝える活動を行っている。

3. 紹介ビデオ「宇宙地球環境の研究とは」の制作

高校生や学部生、一般などに向けて、本研究所の研究内容を分かりやすく伝えるビデオを制作し、本研究所のウェブページや You Tube から視聴できるようにした。

報道等

■ 新聞掲載

年月日	新聞名	記事
H29.4.14	日経産業新聞	先端技術 テクノトレンド 気候変動予測のカギ 雲の動き いまだつかめず
H29.5.9	朝日新聞 (夕刊)	北米の夜空 なぞの光 新しいオーロラ現象か
H29.5.26	北陸中日新聞	私的ほくりく百景 金沢ブルー 青の宝庫 沖合クルーズ線から見た港周辺
H29.5.30	毎日新聞	ウチの教授 オーロラとの架け橋に
H29.6.2	日刊工業 Web	情通機構など、最強の気象レーダーを埼玉大に10月設置 首都圏 ゲリラ豪雨を予測
H29.6.11	日本経済新聞 (朝刊)	高速で瞬くオーロラ撮影 国立極地研など 仕組み解明に期待
H29.7.2	朝日新聞 (朝刊)	スーパーフレアの襲来: 電子機器を破壊 世界的大停電も
H29.7.6	読売新聞	九州豪雨 5段階の最強 「猛烈な雨」記録
H29.7.12	読売新聞	九州豪雨 1週間の被害 「数十年に一度」被害拡大
H29.7.15	朝日新聞 (夕刊)	7万年刻む 湖底のしま模様 「スイゲツ」 世界の物差し
H29.7.19	中日新聞 (夕刊)	スーパー台風 飛行機で予測 名大チーム 精度アップ、直接観測へ
H29.7.20	北陸中日新聞	航空機観測、能登沖で実験へ
H29.7.24	朝日新聞	災害大国 相次ぐ豪雨 命守るには 予測が難しい 「線状降水帯」 経験頼らず早めに避難
H29.7.25	マイナビ Web	気候変動がかつてない速さで永久凍土生態系、地域社会に影響
H29.8.2	北海道新聞 十勝毎日新聞	文部科学省科学研究費補助金新学術領域 (研究領域提案型) 事業 「太陽地球環境予測」 「PSTEP サマースクール陸別2017」開催
H29.8.9	読売新聞	豊橋竜巻 長さ2.5キロ
H29.8.9	朝日新聞	外側降雨帯影響/99年の時と類似
H29.8.17	読売新聞 (夕刊)	台風の直接観測復活へ 飛行機から装置投下 名古屋大などが計画
H29.8.21	マイナビ Web	直径100 mの気球で天体からの硬X線の偏光情報を高い信頼性で検出
H29.9.3	中日新聞	幅広い分野 専門家開設 「おおぶアカデミー」始まる
H29.9.14	日本経済新聞 Web	宇宙で電波生まれる瞬間を特定
H29.9.15	中日新聞 (夕刊)	
H29.9.19	マイナビニュース Web	
H29.9.21	日刊工業新聞	
H29.9.21	読売新聞	台風進路 「渦位」で予測 岐阜大 メカニズム解析方法を開発
H29.10.2	中日新聞 (朝刊)	備える3.11から 災前の策 第144回 次世代の豪雨予想 雲・台風 先端技術の目
H29.10.16	朝日新聞	豪雨増加 気象庁全国調査 観測所の3割 2012年以降に記録更新
H29.10.17	朝日新聞 (朝刊・夕刊) 日本経済新聞 (朝刊・夕刊) 中日新聞 (朝刊・夕刊) 読売新聞 (朝刊) 毎日新聞 (朝刊) 日刊工業新聞	名古屋大学の望遠鏡による重力波対応天体の観測
H29.10.18	日刊工業新聞	
H29.10.22	日本経済新聞 (朝刊)	太陽フレア地球脅かす 奈良時代 大爆発の痕跡も
H29.10.30	産経 West	台風21号の目に飛行機で入り、直接観測に成功
H29.10.30	毎日新聞 (朝刊) 日本経済新聞 (朝刊)	
H29.10.31	静岡新聞 (朝刊) 東奥日報 (朝刊) 佐賀新聞 (朝刊) 岩手日報 (朝刊) 熊本日日新聞 (朝刊) 岐阜新聞 (朝刊) 神戸新聞 (朝刊) 中日新聞 (朝刊)	

13. 社会活動

年月日	新聞名	記事
H29.11.19	朝日新聞（朝刊）	朝日カルチャーセンター講座：「巨大太陽フレアと宇宙の嵐」草野完也宇宙地球環境研究所 教授 他
H29.11.19	共同通信フライヤー Web	世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）」を開発・設置～ゲリラ豪雨や竜巻を、格段の高精度・わずか30秒・3次元構造で観測～
H29.11.21	朝日新聞（夕刊）	台風直接観測作戦「目」や雲の中 装置を投下 予測精度向上へ名大研究
H29.11.24	朝日新聞（朝刊） 朝日新聞デジタル	ゲリラ豪雨から東京五輪守れ 高速・高精度 新レーダーで実験
H29.11.26	中日新聞	マナビバ ジュニア 新聞 わくわくシート 飛行機から台風観測
H29.11.30	日刊工業 Web	植物プランクトン、渦の方向で増殖時期に差一名大が発見
H29.11.29	名大プレリリース 日本経済新聞	世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）」を開発・設置」 ゲリラ豪雨・強風を予測
H29.11.30	マイナビニュース Web 日 刊工業新聞	
H29.12.1	時事ドットコム Web	
H29.12.2	毎日新聞 WEB	
H29.12.3	毎日新聞東京（朝刊）	
H29.12.4	電経新聞（朝刊） 電波タイムズ Web	
H29.12.5	日経産業新聞	
H30.12.6	日本経済新聞電子版	
H29.12.11	建設工業新聞	
H30.1.11	中日新聞（夕刊）	
H30.2.7	北國新聞	「陽子オーロラ」発光の仕組み特定
H30.2.7	読売新聞	分かれた季節風 海上でぶつかる 福井県の記録的な大雪
H30.2.14	財経新聞	宇宙からの電磁波を受け明滅する陽子オーロラを発見 日・カナダの共同研究
H30.2.15	東京新聞 赤旗新聞	瞬くオーロラ謎とけた
H30.2.15	日刊工業新聞	
H30.2.16	読売新聞	
H30.2.18	日経新聞	
H30.2.19	中日新聞	
H30.2.20	毎日新聞	
H30.2.18	朝日新聞	科学の扉 水蒸気をとらえよ 雨・雪の正確な予測 レーザー・放送波で
H30.2.24	中日新聞（夕刊）	<クローズアップ平昌>温暖化で冬季五輪の開催危機
H30.3.22	東愛知新聞	宇宙から観る海洋プランクトン 蒲郡で名大の石坂教授が講演
H30.3.25	朝日新聞デジタル	「脈動オーロラ」淡く明滅 電子の揺さぶり、解明

■ テレビ・書籍ほか

年月日	番組/WEB サイトなど	放送局など	内容	出演/担当
H29.4.8	2017年度進研ゼミ小学講座「実力アップチャレンジ6年生」4-8月号	(株)ベネッセコーポレーション	炭素 14 年代測定法の分析機械の写真提供	榎並 正樹
H29.5.13	サタデーステーション (21:00-22:00)	TV 朝日	Steve と呼ばれる新しいオーロラ現象の紹介に専門家としてコメント	塩川 和夫
H29.5.22	ほっとイブニング	NHK	航空機観測について	坪木 和久
H29.6.5	おはよう日本	NHK		
H29.7.6	クローズアップ現代	NHK	台風3号について	坪木 和久
H29.7.8	報道特集	TBS		

年月日	番組/WEB サイトなど	放送局など	内容	出演/担当
H29.7.20	イッポウ	CBC	航空機観測について	坪木 和久
H29.7.27	ニュース UP イッポウ キャッチ みんなのニュース One	名古屋テレビ 名古屋テレビ CBC 中京テレビ 東海テレビ	航空機観測テストフライトについて	坪木 和久
H29.7.28	どですか おはよう日本全国版	名古屋テレビ NHK		坪木 和久
H29.7.28	キャッチ	中京テレビ	航空機観測について	坪木 和久
H29.7.29	土曜もアサデス	KBC 九州朝日放送	九州豪雨について	坪木 和久
H29.8.2	ちちんぷいぷい	毎日放送	台風観測プロジェクトについて	坪木 和久
H29.8.4	ゆうがたサテライト	テレビ愛知	竜巻特集	坪木 和久
H29.8.8	UP イッポウ ゆうがたサテライト キャッチ みんなのニュース One	テレビ愛知 CBC テレビ愛知 中京テレビ 東海テレビ	豊橋の竜巻とみられる突風について	坪木 和久
H29.8.16	ニュースピア	KBC 九州朝日放送	九州豪雨について	坪木 和久
H29.8.21	NNN ドキュメント	日本テレビ(全国)		
H29.9.1	MBC ニュースナウ	南日本放送	台風の災害について	坪木 和久
H29.9.1	みんなのニュース One	東海テレビ	豪雨について	坪木 和久
H29.9.4	ほっとイブニング	NHK	豊橋の竜巻について	坪木 和久
H29.9.5	とびっきり静岡	静岡テレビ	豪雨について	坪木 和久
H29.9.9	NHK スペシャル MEGA CRISIS	NHK	スーパー台風について	坪木 和久
H29.9	名古屋大学大学院環境学研究科広報誌 「環」	名古屋大学大学院 環境学研究科	エコラボトーク「環境を語る手がかりと しての時間軸」	南 雅代
H29.9.10	サンデージャーナル	テレビ愛知	異常気象について	坪木和久
H29.9.13	とくダネ	フジテレビ	スーパー台風について	坪木和久
H29.9.14	報道ステーション	TBS	台風 18 号について	坪木和久
H29.9.16	サタデープラス	大阪毎日放送	台風について	坪木和久
H29.9.18	あさチャン	TBS	台風 18 号について	坪木和久
H29.10.7	NHK ニュース	NHK	宇宙で電波が生まれる瞬間を特定	小路 真史 三好 由純
H29.10.21	7時のニュース、夕方8時のニュース	NHK	台風 21 号の航空機観測について	坪木和久
H29.10.22	夕方6時のニュース	NHK	台風 21 号の航空機観測について(続報)	坪木和久
H29.10.23	イッポウ あさチャン 夕方7時のニュース ニュース	CBC TBS NHK ARD(ドイツ公共 放送連盟)	台風 21 号の航空機観測について	坪木 和久
H29.10.28	スーパーJチャンネル	テレビ朝日		
H29.10.29	Mr サンデー	フジテレビ	台風の航空機観測について	坪木 和久
H29.11.3	ひるおび	TBS	台風 21 号の航空機観測について	坪木 和久
H29.11.15	おおぶムービーチャンネル(大府市広 報番組)	おおぶインターネ ット放送局	オーロラなどの宇宙現象について	平原 聖文

13. 社会活動

年月日	番組/WEB サイトなど	放送局など	内容	出演/担当
H30.2.14	日テレニュース 24	日本テレビ	最新調査で発見された宇宙の音	三好 由純
H30.2.14	CBC News Technology & Science	CBC (カナダ)	Pulsating aurora spotted in Canada helps explain northern lights' origin	三好 由純
H30.2.16	ラジオニュース	NHK	脈動オーロラの謎解明	三好由純
H30.2.23	Newton	(株) ニュートン プレス	ロケットが作った美しい人工夜光雲 (協力)	西谷 望
H30.3.16	『夜間大気光のふしぎ Wonder of the Airglow』 (単行本ソフトカバー、130ページ、ISBN: 9784344914568)	幻冬舎 (幻冬舎ル ネッサンス新社)	一般向け著書 (最新の研究結果をもと天体ファンや理科好き中高生も楽しめるよう優しく解説)。	塩川 和夫 鈴木 臣
H30.3.28	首都圏ネットワーク	NHK (首都圏)	「2020 へ 気象急変を予測」コーナーで新型レーダー (MP-PAWR) について解説	高橋 暢宏

施設の住所・連絡先

地区		名称	所在地	電話・FAX
東山地区	①	研究所共同館I・II	〒464-8601 名古屋市千種区不老町	TEL: 052-747-6303 FAX: 052-747-6313
豊川地区	②	豊川分室	〒442-8507 愛知県豊川市穂ノ原 3-13	TEL: 0533-89-5206 FAX: 0533-86-3154
北海道地区	③	母子里観測所	〒074-0741 北海道雨竜郡幌加内町字母子里北西 3	TEL: 0165-38-2345 FAX: 0165-38-2345
	④	陸別観測所	〒089-4301 北海道足寄郡陸別町字遠別	TEL: 0156-27-8103
			〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字ポントマム 58-1, 78-1, 78-5, 129-1, 129-4	TEL: 0156-27-4011
山梨地区	⑤	富士観測所	〒401-0338 山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺 1347-2	TEL: 0555-89-2829
鹿児島地区	⑥	鹿児島観測所 (アンテナ)	〒891-2112 鹿児島県垂水市本城字下本城 3860-1	TEL: 0994-32-0730
			〒891-2115 鹿児島県垂水市大字浜平字山角	

